[Press Release：報道記者各位]

2026年11月5日
株式会社TOWING

TOWING、兼松と連携しJ-クレジット方法論「牛への飼料添加物を使用した飼料の給餌」に基づくプログラム型プロジェクトを日本で初めて登録完了

株式会社TOWING（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：西田宏平、以下「TOWING」）は、兼松株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮部佳也、以下「兼松」）と連携し、J-クレジット制度の方法論AG-007「牛への飼料添加物（消化管内の温室効果ガス削減に資するもの）を使用した飼料の給餌」※1に基づくプログラム型プロジェクトが、第70回J-クレジット制度認証委員会において登録完了したことをお知らせします。本方法論に基づくプログラム型プロジェクトの登録完了は、日本で初めてとなります。

今回の登録にあたり、TOWINGは兼松からの依頼を受け、申請書の作成から審査対応までJ-クレジットの登録手続きを支援しました。TOWINGは、高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」※2の事業を通じて、一般企業として初めてJ-クレジット方法論AG-004（バイオ炭によるJ-クレジット創出）を取得しており、この知見を活かしてこの度、AG-007において日本初となる登録をサポートし、実現しました。

TOWINGと兼松は、2031年までに年間約65,000t-CO_2の削減を目標としています。本プロジェクトでは、兼松が飼料メーカーや畜産農家等との連携を通じて、飼料添加物によるメタン削減の取り組みを推進し、TOWINGは今回の登録支援および今後毎年発生するクレジット発行手続きの仲介を担います。

TOWINGは、宙炭事業で培った知見を強みに、今後もJ-クレジットの登録・運用支援を通じて、農業分野における温室効果ガス削減の取り組みを後押ししていきます。

※1　J-クレジット方法論AG-007「牛への飼料添加物（消化管内の温室効果ガス削減に資するもの）を使用した飼料の給餌」
2026年2月、J-クレジット制度運営委員会において承認された新しい方法論。牛の消化管内の発酵により発生するメタンガスを削減する効果を持つ飼料添加物を給餌することによる温室効果ガス排出削減を対象とする。

※2　高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」
TOWING独自のバイオ炭前処理技術と微生物培養技術に、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）の技術を融合させた革新的な農業資材。地域の未利用バイオマスを炭化させたバイオ炭へ、TOWINGが選抜した土壌微生物群を培養。減化学肥料や有機質肥料主体の栽培への転換を促し、作物の品質と収量の向上を通じて生産者の経営効率にも寄与。農地への炭素貯留を通じて、温室効果ガスの削減にも貢献する。

■ 株式会社TOWINGについて

「サステナブルな次世代農業を起点とする超循環社会を実現する」をミッションに掲げる、2020年2月創業の名古屋大学発グリーン＆アグリテックスタートアップです。地域の未利用バイオマスの炭化物に、TOWINGが保有する土壌由来の微生物群を効率的に選別・培養する技術を用いて開発した高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」の製造・販売、および関連する技術サービスの提供を行っています。同技術を活用して宇宙開発利用加速化プログラム（スターダストプログラム）にも携わり、月面農業を実現する研究開発も行っています。農林水産省みどりの食料システム法基盤確立認定事業者であり、農林水産省中小企業イノベーション創出推進基金事業（SBIRフェーズ3基金事業：技術実証等）にも採択されています。

＜TOWING概要＞

住所：〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町1番 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 インキュベーション施設

代表者：西田 宏平

事業内容：宙炭の製造・販売、導入支援、宙炭の施用量に応じたカーボンクレジットの代理取得・販売、および宙炭を利用して生産した作物の販売

設立：2020年2月27日

URL：https://towing.co.jp/

＜取材に関するお問い合わせ先＞

株式会社TOWING　広報チーム　お問い合わせフォーム：https://forms.gle/K3KxyC4WAGPbqu7M9